

▼ペクティビックス点滴静注 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 パニツムマブ (遺伝子組換え) panitumumab (genetical recombination) 【分類】 抗悪性腫瘍剤 [ヒト型抗 EGFR モノクローナル抗体]

【単位】 ▼100mg/5mL, ▼400mg/20mL

【常用量】 2週間に1回 6mg/kg

【用法】 60分以上かけて点滴静注 [生食で調整]

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 減量の必要なし (1)

【その他の報告】 PK は腎機能により変化しない (Yang BB, et al: Clin Pharmacokinet 49: 729-40, 2010 PMID: 20923247)

【特徴】 KRAS 遺伝子野生型の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌に適用される遺伝子組換え型ヒト型 IgG2 モノクローナル抗体で、ヒト EGFR 発現細胞の EGFR に対して特異的かつ高親和性に結合し EGFR に対するリガンドの結合の阻害及び EGFR の内在化が誘導。RAS (KRAS および NRAS) 遺伝子変異の有無を考慮して適応患者の選択を行う。

【主な副作用・毒性】 Infusion reaction [アナフィラキシー, 血管浮腫, 気管支痙攣, 発熱, 悪寒, 呼吸困難, 低血圧等], SJS, TEN, 低 Mg 血症, 低 K 血症, 低 Ca 血症, ざ瘡, 皮膚乾燥, 発疹, そう痒, 爪囲炎, 口内炎, 食欲不振, 下痢, 結膜炎など多数。

【代謝】 ペプチドやアミノ酸に分解されると推定 (1)

【排泄】 尿中回収率 90%以上 [サル] (1)

【CL】 クリアランスは用量依存的に低下し, 2.5mg/kg 投与時 17.4mL/day/kg, 9mg/kg 投与時 5.92 mL/day/kg (1) 1.97±0.953mL/day/kg (1)

【t1/2】 ke=0.047/day (1)

【蛋白結合率】 資料なし (1)

【Vd】 42mL/kg (1) 主に血中に存在 (Yang BB, et al: Clin Pharmacokinet 49: 729-40, 2010 PMID: 20923247)

【MW】 23,353.63

【透析性】 分子量が大きく透析されないとされる (5) 資料なし (1)

【薬物動態】 ターゲット受容体に依存して非線形で消失 (Yang BB, et al: Clin Pharmacokinet 49: 729-40, 2010 PMID: 20923247)

【肝障害患者における情報】 PK は肝機能低下の影響を受けない (Yang BB, et al: Clin Pharmacokinet 49: 729-40, 2010 PMID: 20923247) Child-Pugh クラス B の肝障害患者でも用量調節の必要はなかった (Krens LL, et al: Cancer Chemother Pharmacol 73: 429-33, 2014 PMID: 24258455)

【更新日】 20190206

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。